

第 37 回土木計画学研究発表会(春大会) : 2008.6.6~7(北海道大学)

スペシャルセッション討議内容の記録

セッション名 : 性能照査型道路計画・設計のコンセプト

日付 : 6 月 7 日 (土)曜日, セッション時間 : 8:45 ~ 10:15

オーガナイザー名(所属) : 大口敬(首都大学東京)

討
議
内
容

1. 実務ではどうしても B/C で判断してしまうが, 性能照査型道路設計の考え方について理解を広める方策はないか?
 - ・ B/C のときのコスト計算で, 速度は日ベースではなく, 時間ベースで評価することが重要.
 - ・ B/C の中の B をどう評価するかが重要. 現在の道路計画は過度に需要に依存しすぎである.
2. 性能照査型設計によって性能を規定してしまうことで, 見えない機能を切り捨ててしまうことがあるのでは?
 - ・ 機能をはっきりさせて性能をチェックする. 明確でないがために曖昧な道路構造になるので差別化が必要. 成果として発表した内容は主に幹線系道路の速度性能に偏っているが, 細街路についても評価が必要.
3. 生活道路の研究はこれまで多数の研究が存在するが, それらとの違いは? また, 生活道路に通過交通が入ってくると安全が問題になるが, それは考慮しているのか?
 - ・ 従来までの研究には定量的な解析が少なく, いずれも強い仮定を置いている. その仮定をより現実近づけたい. 安全性については外部費用のところで環境とともに交通安全について考えることとしているが, 定量的に示すことは難しく今後の課題である.